令和７年度進行管理・評価シート
尾道市歴史的風致維持向上計画（令和４年３月２１日認定）

口進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式１－１）
1 計画の推進体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）
1 景観計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2 景観地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）
1 常称寺建造物保存修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2 重要文化財建造物等防災設備整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3 指定文化財管理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4 文化財防災啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5 歴史的風致形成建造物等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6 歴史的建造物調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7 まちなみ形成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
8 空き店舗活用支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
9 沿道建造物等修景事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
10 老朽危険建物除却促進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
11 空き家再生促進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
12 眺望環境整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
13 街なみ景観改善事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
14 道路美装化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
15 道路美装化事業（瀬戸田地区） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
16 道路美装化事業（幹線街路） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
17 夜間景観形成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
18 歩行者環境等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
19 しまなみサクラ公園交流施設整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
20 憩いの広場整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
21 観光案内設備改良事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
22 文化財調査及び市史編さん事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
23 尾道文化財総合活性化プロジェクト事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
24 文化財愛護少年団事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
25 文化財講座開催事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
26 民俗芸能等支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
27 尾道歴史文化読本作成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
28 日本遺産魅力発信推進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
29 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
30 文化財めぐり事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
31 近代化遺産活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
32 文化施設ネットワーク事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）
1 文化財の調査に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
2 文化財の修理に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
3 文化財の防災に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
4 文化財の継承の仕組みに関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
5 文化財の活用に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

⑥その他（様式１－６）
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
2 観光客（総数・外国人）数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

口法定協議会等におけるコメントシート（様式2） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

進捗評価シート （様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
計画の推進体制	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	○計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築 ○文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等 ○国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備（道路美装化事業等）の実施にあたって、庁内の道路整備・管理部局、商工部局及び観光部局と連携を図り、事業の円滑な進捗に努めた。
今年度の尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、進行管理・評価等のため、尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会を4月に開催し、協議・審議を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催
・第1回：令和8年4月27日開催
議題 『令和7年度進行管理・評価（進捗評価）（案）について』 他



令和８年度 第１回推進協議会

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット（景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例）を基本に景観重要建造物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

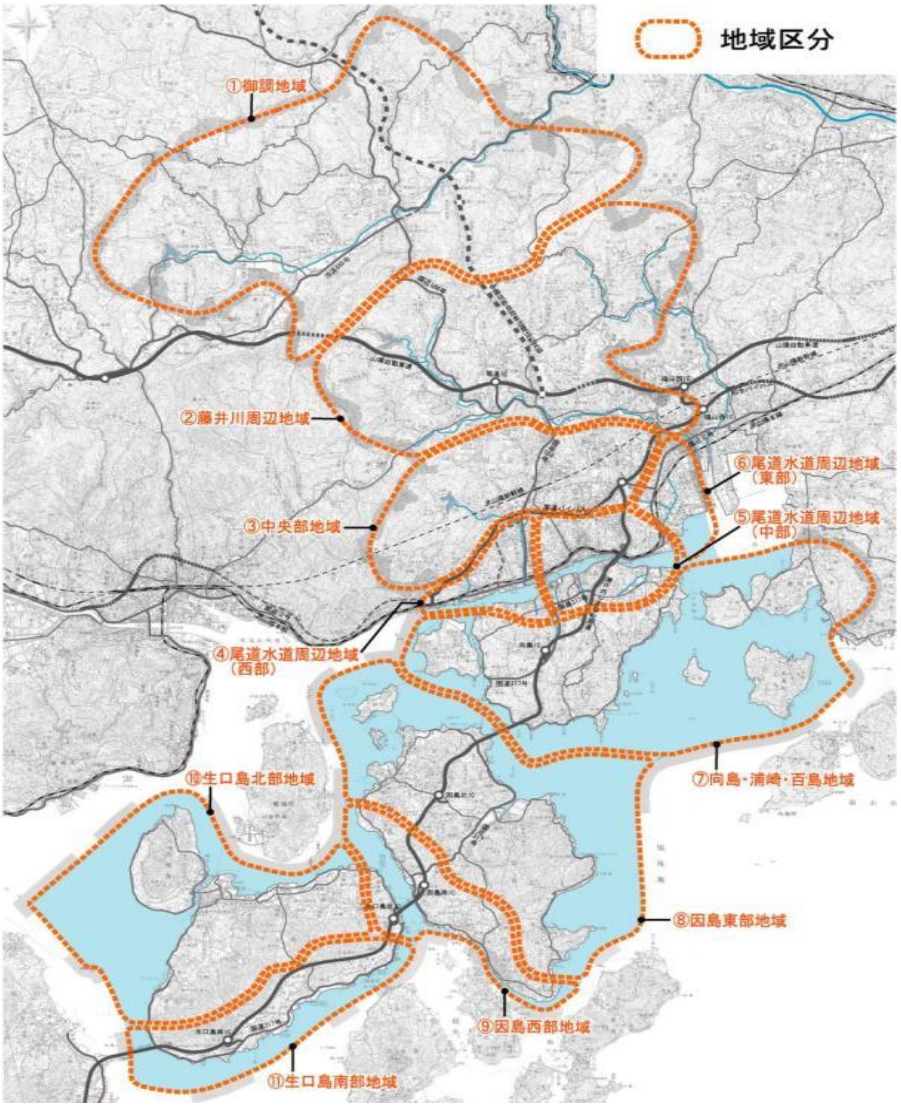
定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成17年8月1日に景観行政団体となり、平成19年4月1日に景観条例の施行と、景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定めた。平成22年4月1日には、景観計画の区域を尾道市全域に拡大。
景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出を必要とするなど、《心に残る尾道の景観》の形成を図ることとしており、広報誌等により制度の周知と理解に努めた。平成19年の策定から20年近く経過した中で、景観を取り巻く社会環境の変化と第2期尾道市歴史的風致維持向上計画の重点区域と整合を図るべく、景観計画の変更を行った。（令和8年4月1日告示）
◇令和7年度届出件数：30件　◇令和6年度届出件数：33件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画区域の地域区分



進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
景観地区	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。 この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

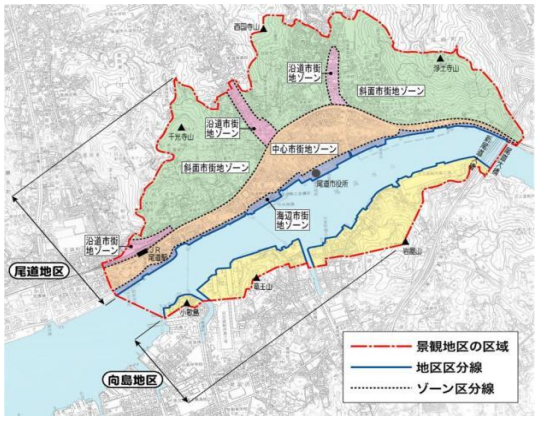
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定め、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等について、規模の大小を問わず認定申請を必要としている。また、屋外広告物に関しては、形態意匠の制限や屋上広告物を禁止するなど、地区内の良好な景観の形成・保全に取り組んでいる。（眺望景観及び地域の景観との調和）
これらについて、随時、地区内の巡回や指導を行うとともに、広報誌等により制度の周知と理解に努めた。
令和5年度から景観計画の改定に着手し、計画改定とあわせて景観地区について、尾道・向島歴史的風致地区（重点区域）である、登録有形文化財の旧和泉家別邸（通称尾道ガウディハウス）等の歴史的建造物が立地し、古くからのまちなみが残る三軒家町の市街地部分について、新たに景観地区（都市計画）の指定を行った。（令和8年4月1日告示）
景観施策と歴史まちづくり施策の一体的な推進により、良好な景観形成を図る。
◇令和7年度認定件数：22件　◇令和6年度認定件数：39件
◇令和7年度屋外広告物関連巡回指導件数：27件（うち23件受理・許可・撤去済、うち4件は協議中）

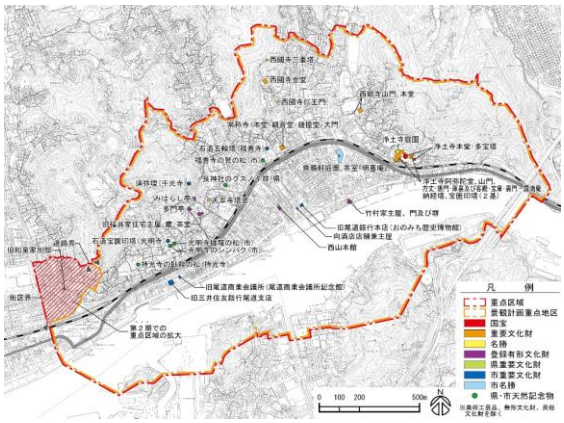
進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

尾道・向島歴史的風致地区に合わせた景観地区の拡大



現　行



変更後（尾道・向島歴史的風致地区と同一）

屋外広告物の景観配慮事例（海側の眺望に配慮して設置高さを変更）※令和３年度



改修前



改修後

進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
常称寺建造物保存修理事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和6年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業
計画に記載している内容	老朽化が進んでいる常称寺本堂・観音堂・墓処門の保存修理事業を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成28年度～令和6年度に、重要文化財常称寺本堂ほか2棟保存修理事業を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

常称寺本堂（重要文化財）の保存修理事業工事完了



常称寺観音堂（重要文化財）の保存修理工事完了



進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
重要文化財建造物等防災設備整備事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和3年度～4年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金等
計画に記載している内容	国宝重要文化財建造物及び美術工芸品収蔵庫の防災防犯施設の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

重要文化財西郷寺本堂及び山門に係る防災防犯施設整備と光明寺重要文化財収蔵庫（重要文化財木造千手観音立像）の防災防犯施設整備工事を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

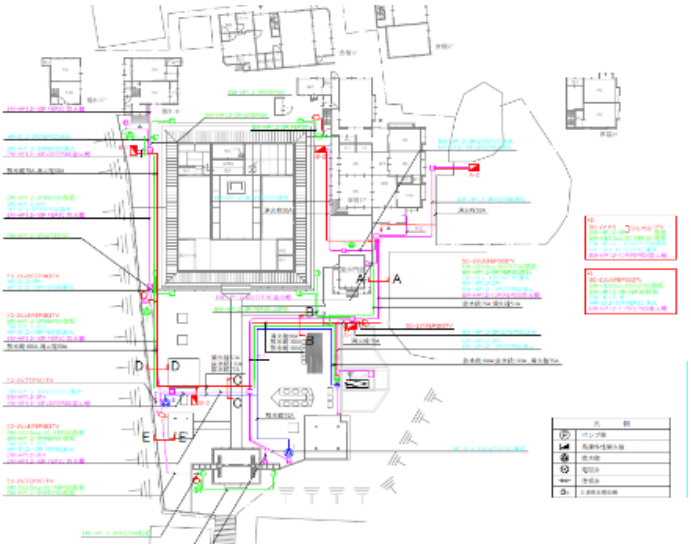
西郷寺防火水槽及びポンプ室等整備工事



光明寺収蔵庫改修工事完了後



西郷寺防災設備配管の敷設状況



評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
指定文化財管理事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	昭和54年度～
支援事業名	指定文化財保存事業費等補助金（広島県）
計画に記載している内容	重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。（浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

防災設備保守点検状況（西郷寺）



防災設備保守点検状況（常称寺）



進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財防災啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。
令和7年度は常称寺で文化財防災訓練を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況①
〔令和８年1月２６日：常称寺〕



消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況②
〔令和８年1月２６日：常称寺〕



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定された建造物や指定候補の建造物の修景・修復整備を行う。（民間所有の場合は整備費用に対し補助金を交付する。）

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成27年8月24日に「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」、「尾道市歴史的風致形成建造物等の公開に関する要領」を制定した。平成27年9月1日付けで2件の歴史的風致形成建造物の指定を行い、同年度に、民間が所有する「みはらし亭」の修景・修復事業に対して補助金を交付。令和4年度には候補物件である旧三井住友銀行尾道支店の改修を実施、令和5年5月1日「まちなか文化交流館（Bank）」としてリニューアルした。
◇令和7年度実績：なし　◇令和6年度実績：なし　（参考）第1期計画期間（H24～R3）実績：1件、令和4年度実績：1件

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重点地区の歴史的風致を構成する重要な建造物の整備・活用につなげられており、今後も着実に取り組んでいく必要がある。

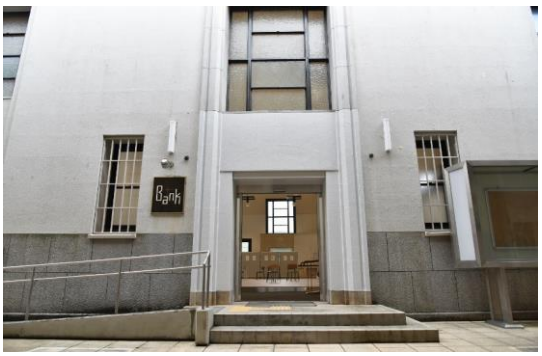
状況を示す写真や資料等

令和４年度
旧三井住友銀行尾道支店
（尾道市重要文化財）

整備前



整備後



平成27年度
みはらし亭
（登録有形文化財）

整備前



整備後



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
歴史的建造物調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和4年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	歴史的に価値のあると思われる建造物等が、老朽化・毀損により失われていく懸念に対して、建造物等の記録保存を図るとともに、「まちなみ形成事業」による整備、文化財指定・登録等を見据えた、ヘリテージマネージャーによる調査を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、久保一丁目にある和風の住宅1件について、ヘリテージマネージャーによる調査及び所見・図面類の作成を実施した。
◇令和7年度実績：1件　◇令和6年度実績：2件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	1件/年以上を目標とする中で、着実な制度利用につなげられている。今後も所有者や地域関係者と連携した取組を進めていく。

状況を示す写真や資料等

調査建物
令和７年度





評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
まちなみ形成事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成15年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業の効果促進事業）
計画に記載している内容	歴史的建造物・工作物（歴史的風致形成建造物を除く）の建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対し補助金を交付する。 また、インバウンドを含めた観光まちづくりに資する事業として、歴史的なまちなみ景観を阻害する建築物の美装化や除却等を実施し、観光の核となる歴史的建造物を含めた地域特有のまちなみ全体の質の向上を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、久保一丁目にある和風の住宅の整備に要する経費に対して補助金を交付した。
令和7年度実績：1件　　令和6年度実績：1件

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	1件/年以上を目標とする中で、着実な制度利用につなげられている。今後も所有者や地域関係者と連携し、取り組みを進めていく。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和７年度

整備前



整備後



【東側外観】
・１階雨戸を補修
・１・２階雨樋を更新
・２階ガラス戸を補修

整備前



整備後



【南側外観】
・２階ガラス戸を修復
・２階雨樋を更新
・２階下地窓を修復

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
空き店舗活用支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和4年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	北前船の寄港地として港町・商都として発展した市街地には空き店舗が散見されることから、商業地としての古くからの街なみの保全・形成につなげるため、一定期間（概ね6か月以上の間）継続して使用されていない空き店舗等の有効利用を通して地域の活性化及び良好な景観の形成を図ることを目的に、外装整備に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

事業実施に向けて課題と制度内容の検討を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	店舗として収益施設であることや店舗形態が変更する（外観変更の可能性が高くなる）ことから、慎重な制度設計の検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

整備イメージ



評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
沿道建造物等修景事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	新たに美装化を行う道路及び既に美装化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の外観修景（あわせて実施する屋外広告物の除却含む）の整備に要する経費に対して補助金を交付する。 令和6年度から上記に加え、景観地区内の建造物や工作物について対象とした。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、斜面地に立地する店舗兼住宅外修景整備に要する経費に対して補助金を交付した。
◇令和7年度実績：1件（尾道・向島 2件） ◇令和6年度実績：2件（尾道・向島 2件）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備例
令和７年度



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
老朽危険建物除却促進事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成24年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

事業実施なし。（令和5年度で事業終了（空き家対策施策において実施））

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	空き家対策において同様の補助制度が実施・運用されていることから、令和5年度をもって事業を終了。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和５年度

除却前



除却後



建物内部写真





進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
空き家再生促進事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、東土堂町外の空き家の再生に要する経費に対して補助金を交付した。
◇令和7年度実績：2件（尾道・向島　2件）　◇令和6年度実績：3件（尾道・向島　3件）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	より多くの空き家の再生につなげられるよう、制度利用につながる効果的な周知と空き家バンクとの連携を図る。

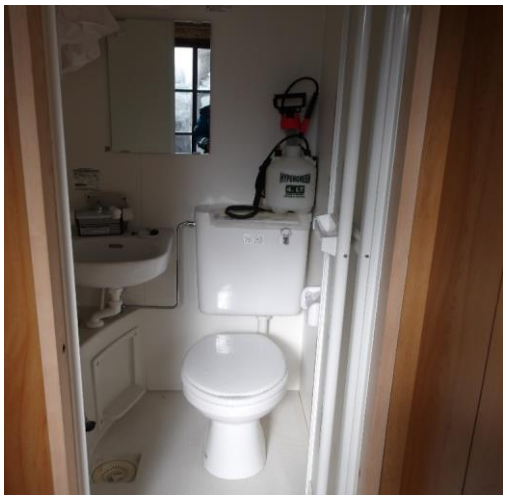
状況を示す写真や資料等

整備例
令和７年度

改修前



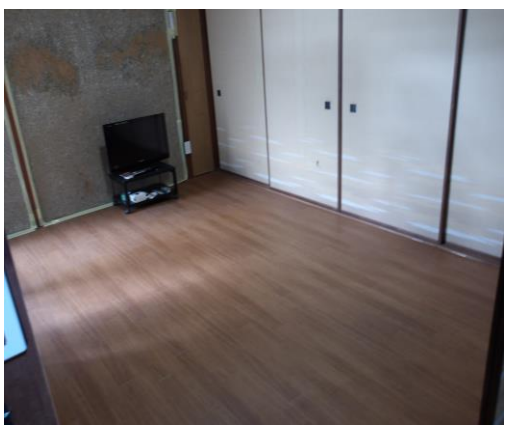
改修後



改修前



改修後



進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
眺望環境整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	令和4年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	歴史的建造物や神社仏閣を含む眺望景観を楽しむための滞留スペースや案内看板等の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

事業実施に向けて課題と事業候補地の検討を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	事業候補地の選定のため関係課との調整を行う。

状況を示す写真や資料等

眺望場所例

向上寺三重塔や瀬戸内海を望む眺望点
（潮音山公園の山頂）



尾道水道や尾道・向島の市街地などを望む眺望点
（浄土寺山の山頂付近）



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
街なみ景観改善事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）、尾道市単独事業
計画に記載している内容	電柱・電線の輻輳(ふくそう)により街なみの景観や眺望景観が阻害されている通りの電線・電柱の移設や無電柱化を行い、街なみの保全と道路からの眺望景観の向上を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

無電柱事業について実施に向けて課題の検討を行った。
（参考）令和2年度：瀬戸田町旧堀内家住宅（現　Azumi Setoda）及び周辺の整備に伴い、景観を阻害する電柱・電線を移設した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	尾道・向島歴史的風致地区内において無電柱化（予定）路線としている3路線（長江線、渡し場線、尾道駅前尾崎線）について、無電柱化の検討を継続する。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和2年度

電柱移設前



電柱移設後



進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
道路美装化事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	神社仏閣等の歴史的建造物の回遊及び良好な市街地環境の形成のため、主要な小路や通りの舗装及び側溝の美装化を行う。また、長期間経過し経年劣化した美装化道路について、計画的な更新を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

第2期計画における道路美装化の全体計画延長はL＝2,230mとし、第1期計画で整備しきれなかった路線を中心に整備を行う。
令和7年度は、尾道駅前尾崎線の美装化を実施した。
◇令和7年度実績（実施延長）：尾道駅前尾崎線L＝25.0m　◇令和6年度：252.4m

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	尾道・向島歴史的風致地区内において無電柱化（予定）路線としている3路線（長江線、渡し場線、尾道駅前尾崎線）について、無電柱化の検討を継続する。

状況を示す写真や資料等

令和７年度
尾道駅前尾崎線

整備前



整備後



評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
道路美装化事業（瀬戸田地区）	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成29年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	瀬戸田歴史的風致地区の中心地であるしおまち商店街と向上寺周辺の道路において、舗装及び側溝の美装化を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、胡町3号線から、国宝（三重塔）のある向上寺へつながる北町1・4号線において、令和8年度から予定する道路美装化に先立ち、側溝整備を実施した。
（参考）令和6年度：北町1・4号線道路美装化の測量設計
令和5年度：胡町3号線（L＝263.3m）の道路美装化を実施。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和8年度で北町1号・4号線（一部）の道路美装化を実施予定。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート （様式1-3）

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
道路美装化事業（幹線街路）	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	昭和59年度～令和7年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街路事業）、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	旧西国街道にあたる都市計画道路久保長江線の歩道において、美装化を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

都市計画法の事業認可（～令和6年度）により久保長江線整備事業を実施。
◇平成24年度：用地買収等等
◇平成26～27年度：用地買収部分の管理工事（アスファルト舗装等）を実施
◇平成28年度：用地買収等
◇平成29～30年度：用地買収等及び地下にある防地川の改修工事を実施
◇令和元年度：用地買収等
◇令和2年度：道路舗装及び地下にある防地川の改修工事に着手
◇令和3～5年度：地下にある防地川の改修工事を実施
◇令和5～7年度：道路改良工事（歩道・管渠・側溝整備）を実施
◇令和8年度：供用開始

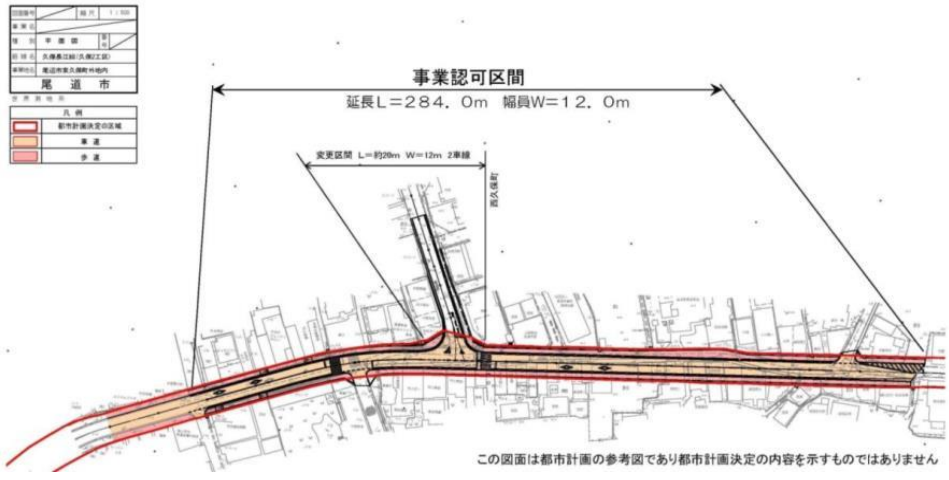
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和8年4月1日供用開始。

状況を示す写真や資料等

整備後（令和７年度）



整備箇所図【道路美装化事業（幹線街路）】



評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
夜間景観形成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	夜間の安全な通行と夜間景観の形成を図ることを目的に、街なみに調和したデザインの街灯等の設置を行う。 また、歴史的建造物及びその周辺の公共空間も、その価値をより一層高めるようライトアップを展開する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、本町御幸町線（しおまち商店街）の街灯整備に向け、詳細設計を行った。
（参考）令和6年度：本町御幸町線（しおまち商店街）の街灯概略整備に向けて地元調整を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和8年度で本町御幸町線（しおまち商店街）の街灯整備を実施予定。

状況を示す写真や資料等

現在の状況
（本町御幸町線）





整備イメージ





（照明器具案）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
歩行者環境等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成24年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	市民や観光客の安全・円滑な歩行のため、劣化による安全面や美観が損なわれている道路や遊歩道、水路等の修復のほか、街なみに調和したデザインの手すりや柵の設置・更新を行い、街並み景観の形成を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

具体な整備について実施なし。
古寺巡りコースの一部など歩行するのに危険と思われる箇所の対策について、関係部局との協議を行った。
（参考）第1期計画で主要箇所については整備を実施している。令和6年度は、古寺巡りコースである西郷寺周辺の柵（フェンス）及び路面（路肩部）を整備し、一体的な美装化を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	引き続き、関係課と調整を行い、安全、快適な歩行環境の実現に向けて、整備箇所・手法の検討を継続していく。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和６年度

柵（フェンス）整備
（古寺巡りコース　西郷寺周辺）

整備前



整備後



整備前



整備後



評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
しまなみサクラ公園交流施設整備事業 （文化・交流・情報発信機能整備事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和2年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	尾道観光の玄関口であるJR尾道駅から市街地を回遊する拠点となるための機能（手荷物預かり・情報発信機能・自転車組立所等）を備えながら、開放的で観光客や市民の交流を生みだす交流施設をしまなみサクラ公園に整備する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

しまなみサクラ公園交流施設整備事業（事業課：観光課）について、令和3年度に実施設計を完了し、令和4年度で工事を実施する予定としていたが、資材価格の高騰等の影響により事業を実施できる見込みが立たなくなったことから工事を延期している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	引き続き、状況をふまえながら事業の実施時期について判断する。

状況を示す写真や資料等

しまなみサクラ公園交流施設　イメージ



評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
憩いの広場整備事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和4年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	神社仏閣等の歴史的建造物や市街地に残る旧家や路地の家並みなど、まちなかの回遊性を高めるために、市民や観光客の憩いの空間となる広場を整備する。また、開放的でゆとりがある都市空間の確保を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度に整備した憩いの広場（みんなの広場「はっち」、令和6年3月29日完成）について、ベンチ・パラソル（日除け）を設置し憩いの空間としての機能強化を図るとともに、イベントの開催による交流・賑わいの創出を図っている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市民や観光客の交流・憩いの場として、観光ルート沿線における空き地等を活かした空間の創出に努める。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和５年度

みんなの広場　はっち
（尾道商業会議所記念館広場　土堂一丁目）



評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
観光案内設備改良事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和4年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	市民や観光客への適切な案内や説明を行う観光(案内)看板について、劣化等により構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれているもの、案内の内容が現状とそぐわないものの修復、改修、撤去を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

具体な整備について実施なし。
令和6年度にリニューアルした千光寺公園内の案内サインについて好評を得ている。観光課と連携し、整備が必要な箇所が判明した場合は報告を受け、事業化に向けた協議を行うことを確認した。
（参考）令和6年度：千光寺公園内の案内サインのリニューアルを実施した。（千光寺公園サインリニューアル事業　観光課）

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	引き続き、観光課と連携して、外国人への伝達を含め分かりやすい誘導標識の整備・充実に取り組む。

状況を示す写真や資料等

整備例
令和６年度

千光寺公園サインリニューアル

整備前



整備後



評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財調査及び市史編さん事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成20年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	文化財総合的把握モデル事業（平成20年度～22年度）を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、文化財指定に係る調査を1件、市史編さん事業で市内美術工芸品及び考古資料・遺跡調査を6件、中世、近世、近代、現代各部会の資料調査を随時実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

美術工芸品（絵画）の詳細調査の状況



考古資料（遺跡）の詳細調査の状況



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
尾道文化財総合活性化プロジェクト事業（民俗芸能・文化遺産マップ）	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和元年度～令和6年度
支援事業名	文化資源活用事業費補助金
計画に記載している内容	文化遺産まつりの開催や文化遺産マップの製作配布により、民俗芸能等の文化遺産の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度～6年度に、尾道市文化遺産マップを5種類刊行、配布し、さらにそのデータを活用して電子書籍化し、尾道市ホームページ等で公開した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

発刊された5種類の文化遺産マップ



評価軸③-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財愛護少年団事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	昭和43年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財愛護少年団事業学習会
◇令和7年度：全3回（7月31日、8月8日、3月20日）　参加者数　43名
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）　延べ53回　参加者数　2,095名

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財愛護少年団事業学習会の開催状況（令和７年７月３１日）



文化財愛護少年団事業学習会の開催状況（令和８年３月２０日）



評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財講座開催事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成14年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
計画に記載している内容	尾道市全体やそれぞれの地域、共通するテーマ等で、文化財や歴史に関する講演会等を開催してきている。 今後とも、尾道市の文化財および歴史に関する講演会等の開催を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財講座開催事業
◇令和7年度：・令和7年6月21日〔参加者数60名〕
　　・令和7年11月1日〔参加者数6名〕
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）　延べ22回　参加者数　1,200名

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財講座の開催状況（令和７年６月２１日）



文化財講座の開催状況（令和７年１１月１日）



評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
民俗芸能等支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	昭和43年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	尾道市において文化財指定を受けている民俗芸能の活動を支援し、文化財の保存・継承や地域の活性化を促進する。また、尾道市には未指定の無形民俗文化財（民俗芸能）も多数あり、その担い手・後継者の確保や開催の支援を検討する。さらに、民俗芸能の調査や記録、情報発信等を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

文化財保存事業として、民俗芸能団体に補助金を交付した。
（補助金対象＝県及び市指定）
令和7年度：助成件数　17件、助成金額　1,241千円

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

補助金を交付した民俗芸能事例（岩子島管絃祭）



補助金を交付した民俗芸能事例（百島お弓神事）



評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
尾道歴史文化読本作成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
計画に記載している内容	尾道市の歴史や文化を紹介する冊子等を作成し、市内学校、公民館等関係機関に配布し、普及啓発を行う。

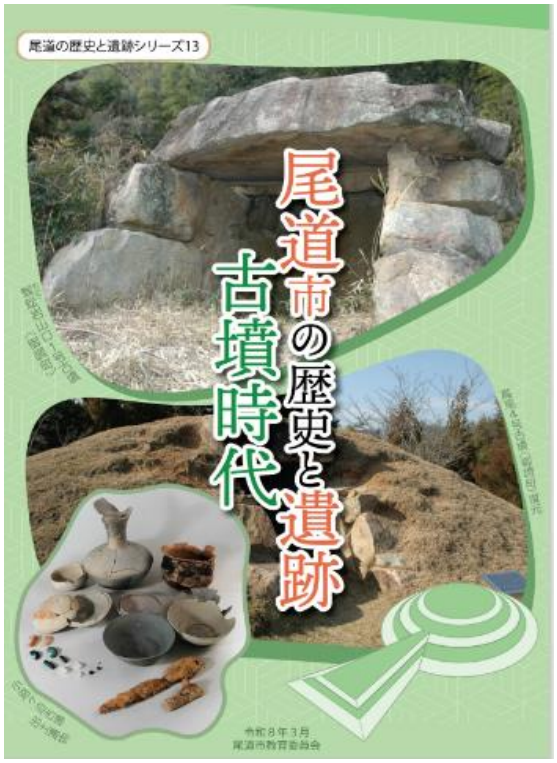
定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

◇令和7年度　　埋蔵文化財広報パンフレット「尾道の歴史と遺跡　古墳時代」3,000部刊行
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）
埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡　近世編」「発掘　尾道遺産　御調編」「発掘尾道市民遺産　街道編」「尾道の歴史と遺跡　瀬戸内の覇者　村上海賊」「尾道近世遺跡　北前船と港町尾道」「尾道と塩の文化」「中世尾道の甍」「中世陶磁器と港町尾道」「縄文土器と勾玉を作ろう」「常称寺 - 文化財の保存修理と埋蔵文化財調査」「尾道の城跡」刊行、配布済

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「尾道市の歴史と遺跡　古墳時代」



評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
日本遺産魅力発信推進事業 （尾道水道・村上海賊・北前船）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	日本遺産「箱庭的都市」「村上海賊」「北前船」の情報発信、調査研究、普及啓発、環境整備等を協議会及び民間との連携により実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和7年度は、日本遺産認定10周年記念事業として、おのみち歴史博物館等での企画展、箱庭的都市ナイトツアー及び尾道水道クルーズ等周遊事業を実施した。また、日本遺産フェスティバル等でのブース出展や文化遺産パートナー養成講座の開催(計6回)により、情報発信、普及啓発、人材育成等を進めた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

日本遺産に関する企画展の開催（おのみち歴史博物館）



箱庭的都市ナイトツアーの様子



評価軸③-29
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成19年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
計画に記載している内容	埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。 特に、重点区域（尾道・向島歴史的風致地区）では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度
◇出張展示会「尾道銀行物語　建築100年の歴史」：令和6年1月4日～2月18日（会場＝おのみち歴史博物館）〔入館者数 735名〕
◇出張展示会「石碑からたどる因島と村上海賊」：令和5年11月10日～1月24日（会場＝因島水軍城）〔入館者数 4,557名〕
令和6年度
◇出張展示会「大浜埼灯台と布刈瀬戸・尾道水道～海上交通の歴史」
　令和6年7月31日～9月16日（会場＝おのみち歴史博物館）〔入館者数 947名〕
　令和6年7月19日～9月25日（会場＝因島水軍城）〔入館者数 6,857名〕
令和7年度
◇出張展示会「尾道市の文化財保存修理20年」：令和7年6月25日～9月15日（会場＝おのみち歴史博物館）〔入館者数 1,680名〕
◇出張展示会「芸予諸島の海の信仰～村上海賊から北前船まで」：令和7年6月27日～9月10日（会場＝因島水軍城）〔入館者数 9,272名〕
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）出張展示会延べ12回　来館者数　77,135名

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

出張展示会
「芸予諸島の海の信仰～村上海賊から北前船まで」



出張展示会
「尾道市の文化財保存修理20年」



評価軸③-30
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財めぐり事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	昭和43年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金
計画に記載している内容	尾道市では、区域・地域ごとに、またはテーマに基づいて、市民等が文化財に親しみ、学ぶ「古寺めぐり」などを行ってきている。 今後とも、こうした体験型の文化財めぐりを開催する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財めぐり事業
◇令和4年度：文化財めぐり　令和5年1月28日　参加者数35名
◇令和5年度：文化財めぐり　令和5年11月18日　参加者数34名
◇令和6年度：文化財めぐり　令和7年2月22日　参加者数24名
◇令和7年度：文化財めぐり　令和7年9月23日、9月28日、10月4日、11月2日、累計参加者数91名
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）　延べ15回　参加者数　732名

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財めぐりの状況（令和７年１１月２日）



文化財めぐりの状況（令和７年１０月４日）



評価軸③-31
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
近代化遺産活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成20年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	尾道市では、バス、徒歩を利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。 今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

近代化遺産めぐり、講演会
◇令和4年度：令和5年1月28日 参加者数35名（文化財めぐりと合同開催）
◇令和5年度：令和5年5月1日 参加者数60名／令和5年11月18日　参加者数34名（文化財めぐりと合同開催）
◇令和6年度：令和6年4月13日 参加者数8名／令和6年9月14日 参加者数17名／令和6年9月21日 参加者数15名／
令和7年2月22日 参加者数24名（文化財めぐりと合同開催）
◇令和7年度：令和7年11月22日 参加者数42名（文化遺産パートナー養成講座）
（参考）第1期計画（平成24～令和3年度）延べ8回　参加者数　356名

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-32
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化施設ネットワーク事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	尾道市単独事業
計画に記載している内容	おのみち歴史博物館、尾道商業会議所記念館、尾道遺跡発掘調査研究所等の役割分担と連携を図りながら、情報の共有化・ネットワーク化を進め、市民や訪れた人々の情報サービスを高めるとともに、ホームページにおける歴史文化情報等の充実に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

商工部局が管理する「尾道商業会議所記念館」で企画展示を実施した。
また、企画展示開催の情報発信を各施設で行うなど所管する関係課と情報交換を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

尾道商業会議所記念館の位置（観光パンフレットから）



企画展示会場となる
尾道商業会議所記念館



企画展示の状況

① 第48回企画展示
「尾道楽天地界隈～花街と芸能娯楽のパラダイス～」
期間：令和7年5月30日（金）～10月22日（水）
〔参考〕入館者数：29,058 人
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、



② 第49回企画展示「尾道百年店舗をゆく～プロローグ～」
期間：令和8年2月27日（金）～令和8年6月24日（水）
〔参考〕入館者数： 7,227人（3月末時点）
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、
期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財の調査に関する事項	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	地元調査員による有形文化財（建造物）、民俗文化財、歴史的景観（小景観：狭い範囲の景観）の調査、及び専門家による美術工芸品（仏像、歴史資料等）、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

○文化財調査・研究事業（評価軸③-22：P25）を参照
○近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③－２２：文化財調査・研究事業：Ｐ25　①



③－２２：文化財調査・研究事業：Ｐ25　①



評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財の修理に関する事項	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	市内の文化財の状況をみると、緊急性を要する文化財が多数見受けられ、指定文化財については、その損傷具合や緊急性を考慮し、修理事業を実施している。特に重要文化財の建造物は、その建築年代が古いことから、緊急性を要するものが多い。また、美術工芸品についても、修理の必要がある場合には、その状況を把握し、修理計画を作成することが求められる。ただし、美術工芸品の場合、その保管状況や防犯体制についても考慮する必要があり、教育委員会は、文化財所有者にその指導助言を継続的に行う。文化財の修理は、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、市民の理解を得られるよう適宜公開する機会を設け情報発信する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

○重要文化財等保存修理事業＝常称寺建造物保存修理事業（評価軸③-1：P4）を参照
○文化財保存事業

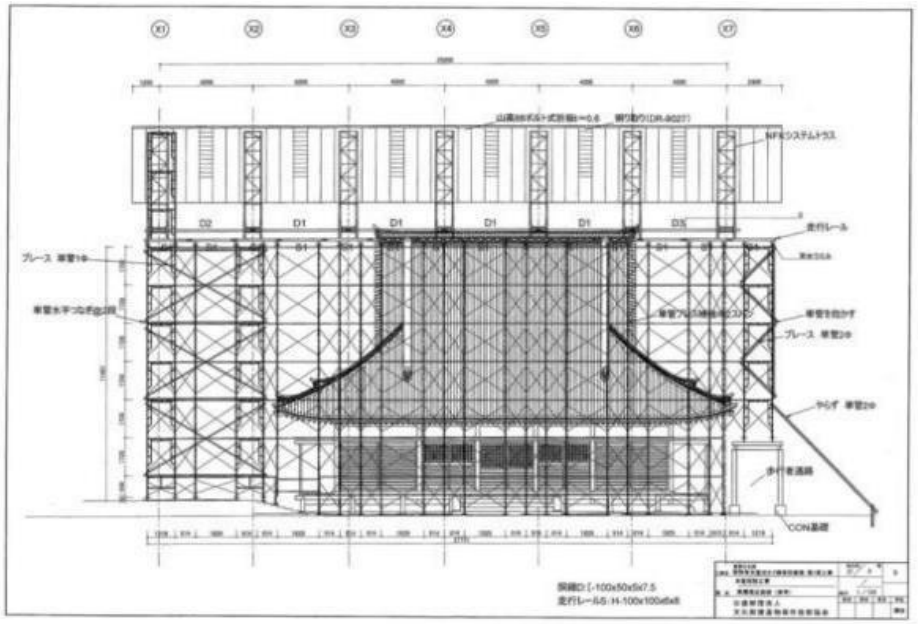
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③－1：常称寺建造物保存修理事業：Ｐ４
常称寺本堂・観音堂（重要文化財）の保存修理状況







【参考図面】公益財団法人文化財建造物保存技術協会（尾道市文化振興課提供）

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財の防災に関する事項	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

○重要文化財建造物防災設備整備事業
○指定文化財管理事業（評価軸③-3：P6）を参照
○文化財防災啓発事業（評価軸③-4：P7）を参照

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③－３：指定文化財管理事業：Ｐ６



③－４：文化財防災啓発事業：Ｐ７



評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財の継承の仕組みに関する事項	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財への関心と理解を高めていくため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する（仮称）尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

○文化財愛護少年団事業（評価軸③-24：P27）を参照
○文化財講座開催事業（評価軸③-25：P28）を参照
○民俗芸能等支援事業（評価軸③-26：P29）を参照
○尾道歴史文化読本作成事業（評価軸③-27：P30）を参照
○日本遺産魅力発信事業（評価軸③-29：P31）を参照

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③－24：文化財愛護少年団事業：P27



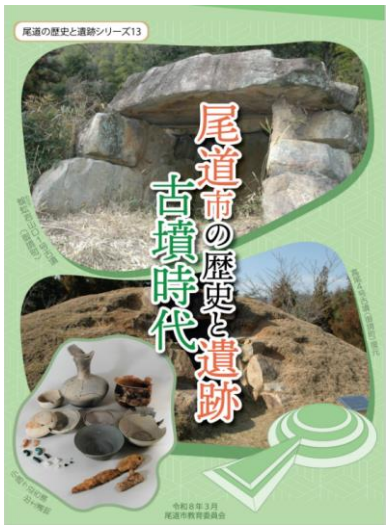
③－25：文化財講座開催事業：P28



③－26：民俗芸能等支援事業：P29



③－27：尾道歴史文化読本作成事業：P30



③－29：日本遺産魅力発信事業：P31



評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況
文化財の活用に関する事項	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。 文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

○地域の特色ある埋蔵文化財活用事業（評価軸③-29：P32）を参照
○文化財めぐり事業（評価軸③-30：P33）を参照
○近代化遺産活用事業（評価軸③-31：P34）を参照
○文化施設ネットワーク事業（評価軸③-32：P35）を参照

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③－29：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業：P32



③－30：文化財めぐり事業：P33



③－31：近代化遺産活用事業：P34



③－32：文化施設ネットワーク事業：P35



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 令和7年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
尾道など8都市を紹介(歴まち手帖を使って旅行を)	令和7年4月6日	尾道新聞
茅葺屋根の修繕など終え　GW期間　7年振りに一般公開！ （浄土寺、国の重文茶室「露滴庵」）	令和7年4月15日	尾道新聞
国宝の寺　春観音まつりと合わせ大勢の人出　浄土寺の秘宝をめぐる （聖徳太子立像など一般公開）	令和7年4月22日	尾道新聞
歴まちカード英語版配布　尾道市	令和7年4月25日	中国新聞
三体廻し 威勢良く 尾道の八坂神社　祇園祭	令和7年6月29日	中国新聞
常称寺「龍頭瓦」を間地に　歴史博物館で文化財保存修理20年展	令和7年7月12日	尾道新聞
勇壮に御袖天満宮「天神祭」 大神輿が石段を駆け上がる	令和7年7月23日	尾道新聞
文化財修理　重要性を説く　　尾道の浄土寺で講演会	令和7年8月24日	中国新聞
茶の湯歳時記同好会　浄土寺露滴庵　保存活用支援茶会	令和7年9月11日	尾道新聞
「景観地区」に三軒家町追加	令和7年9月28日	尾道新聞
餅つき神事　祝い歌学ぶ 尾道山波小児童　あすの本番で披露	令和7年10月17日	中国新聞
市文化財保護委員、三浦正幸さん講演　日本一の経済力で名建築 「尾道の中世建築の魅力を」	令和7年10月21日	尾道新聞
尾道の茶道文化　触れて　企画展　光國ゆかりの品など	令和7年10月26日	読売新聞
御調歴史民俗資料館で企画展　時空を旅するオノテツ紀行 （明治建築の旧村役場建物にも着目を）	令和7年11月19日	尾道新聞　外
7年ぶり神楽奉納し交流　山波協力　西藤町森柳井の荒神社で	令和7年12月16日	尾道新聞
浄土寺本堂に県重文「黒馬・白馬」　12年ごと　午年の新春だけ公開の絵馬	令和7年12月24日	尾道新聞
「箱庭的都市」尾道冬を歩く　観光協会　4日からナイトツアー	令和7年12月28日	中国新聞
西国寺の初祈祷、無病息災等願う　火渡りし柴燈大護摩法要	令和8年1月9日	尾道新聞
歴史博物館　保田素一郎氏郷土玩具コレクション （午年に因み「絵馬」の展示　一足早く「雛人形」もかざる）	令和8年1月18日	尾道新聞

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

報道により視察や研修会場となる機会が増えるだけでなく、主催行事や出張展示等の参加者・入場者の増加のほか、メディア(テレビ等)に取り上げられることにもつながっている。
また、NPO法人や民間事業者等による活動も広く周知され、歴史まちづくりに対する関心は高まっている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	歴史・文化・景観の歴史的風致の魅力を効果的・持続的なものとするため、積極的な情報発信に努める。

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため報道記事は掲載していません。

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和7年度

項目

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容	記載なし

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

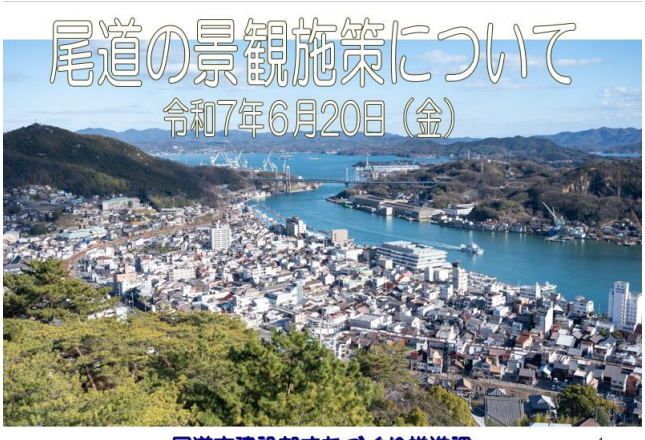
令和7年度は、4件（生駒市中地区自治連合会、水戸市議会、長崎県対馬市議会、国土交通省）の視察等の対応を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

令和７年６月２０日　奈良県生駒市中地区自治連合会





評価軸⑥-2
その他（効果等）

評価対象年度	令和7年度

項目

観光客（総数・外国人）数の推移

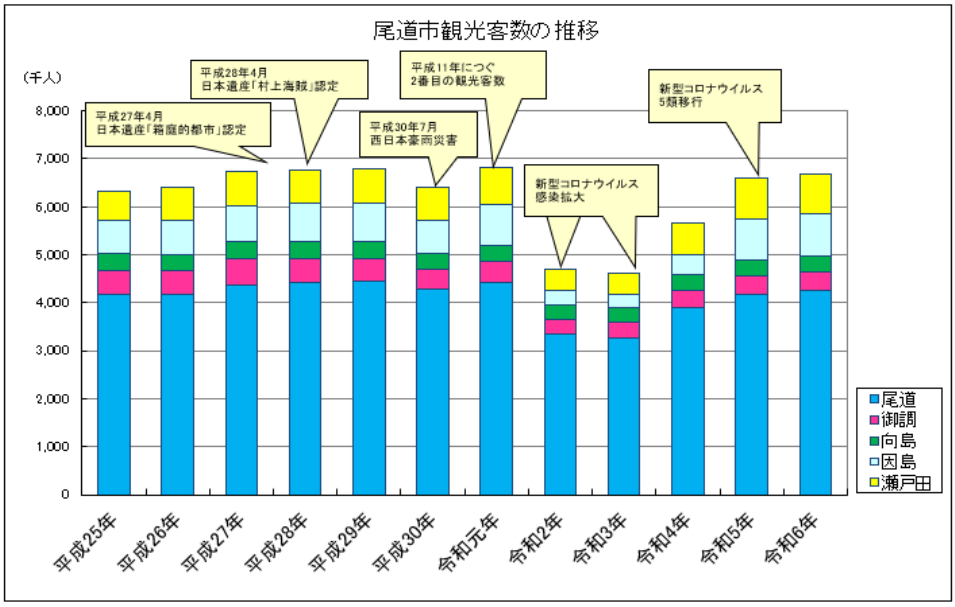
計画に記載している内容	記載なし

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

尾道水道や坂道、市街地に残る旧家や路地の家並み、寺社仏閣等の歴史的建造物による特有のまちなみ景観をはじめ、リニューアルした千光寺公園展望台等の新たな観光施設の整備や瀬戸内しまなみ海道のサイクリングなど多様な魅力によって、新型コロナウイルス禍以降の観光客数も増加傾向にある。また、令和6年は、外国人観光客数は調査開始以降、過去最高となった。（約37万人）
（参考）H23：約4万人→H24：約7.7万人→R1：約34万人→R2：約9.9万人→R3・R4：欠測（サンプル数不足）→R5：約52万人

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	日本遺産の取組と連携し、歴史的建造物の保存・活用や、周辺環境の整備、観光・情発発信、ガイド等の人材育成による受入体制の整備等に取り組む。

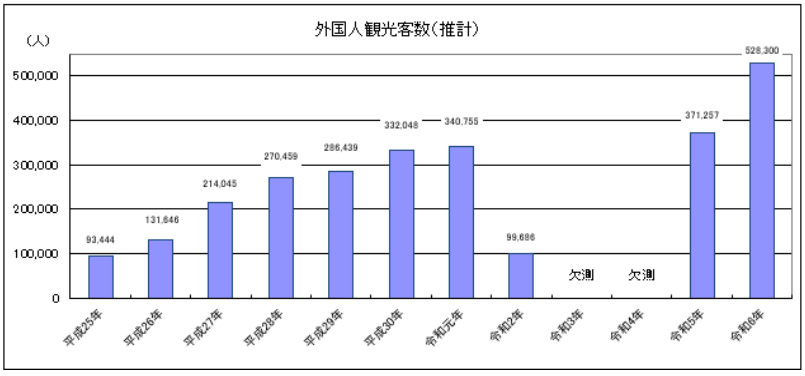
状況を示す写真や資料等



（千人）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	**令和6年**
尾道	4,178	4,164	4,366	4,407	4,446	4,280	4,425	3,351	3,271	3,897	4,170	**4,242**
御調	503	492	555	506	467	427	424	306	316	362	378	**386**
向島	339	332	350	352	362	319	351	283	305	337	353	**348**
因島	687	723	755	815	810	694	832	308	285	414	842	**866**
瀬戸田	623	700	720	669	716	674	794	457	440	648	840	**833**
合計	6,330	6,411	6,746	6,749	6,801	6,394	6,826	4,705	4,617	5,657	6,583	**6,675**
前年比	101.6%	101.3%	105.2%	100.0%	100.8%	94.0%	106.8%	68.9%	98.1%	122.5%	116.4%	**101.4%**

※千人未満を端数処理しているため、合計は一致しないことがある。



法定協議会等におけるコメント　（様式2）

評価対象年度	令和7年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：
会議等の開催日時：
（コメントの概要）
（今後の対応方針）